

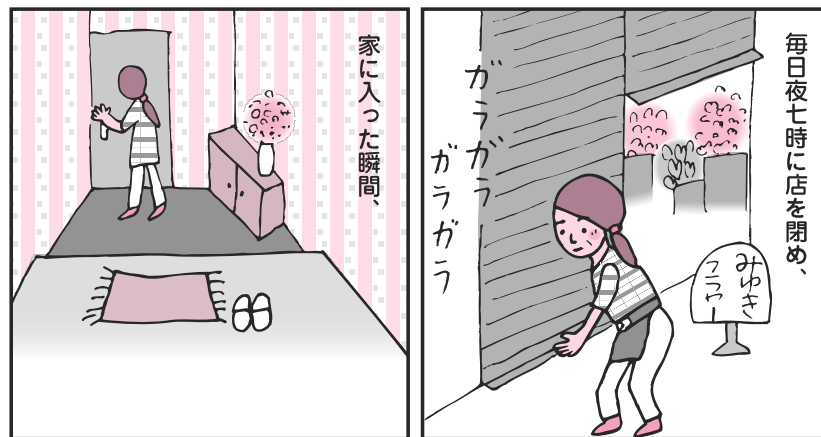
母娘の絆で脳梗塞、転倒、骨折を乗り越えて

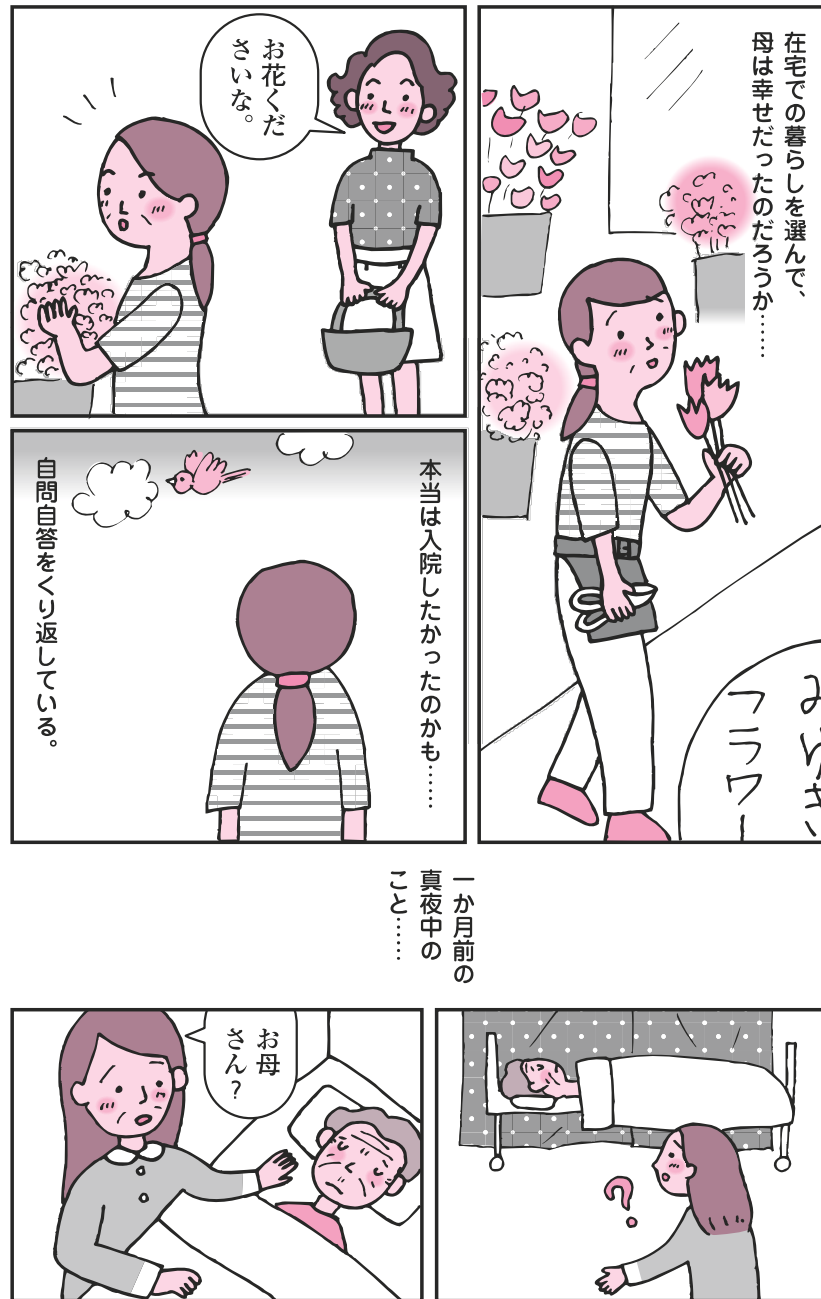
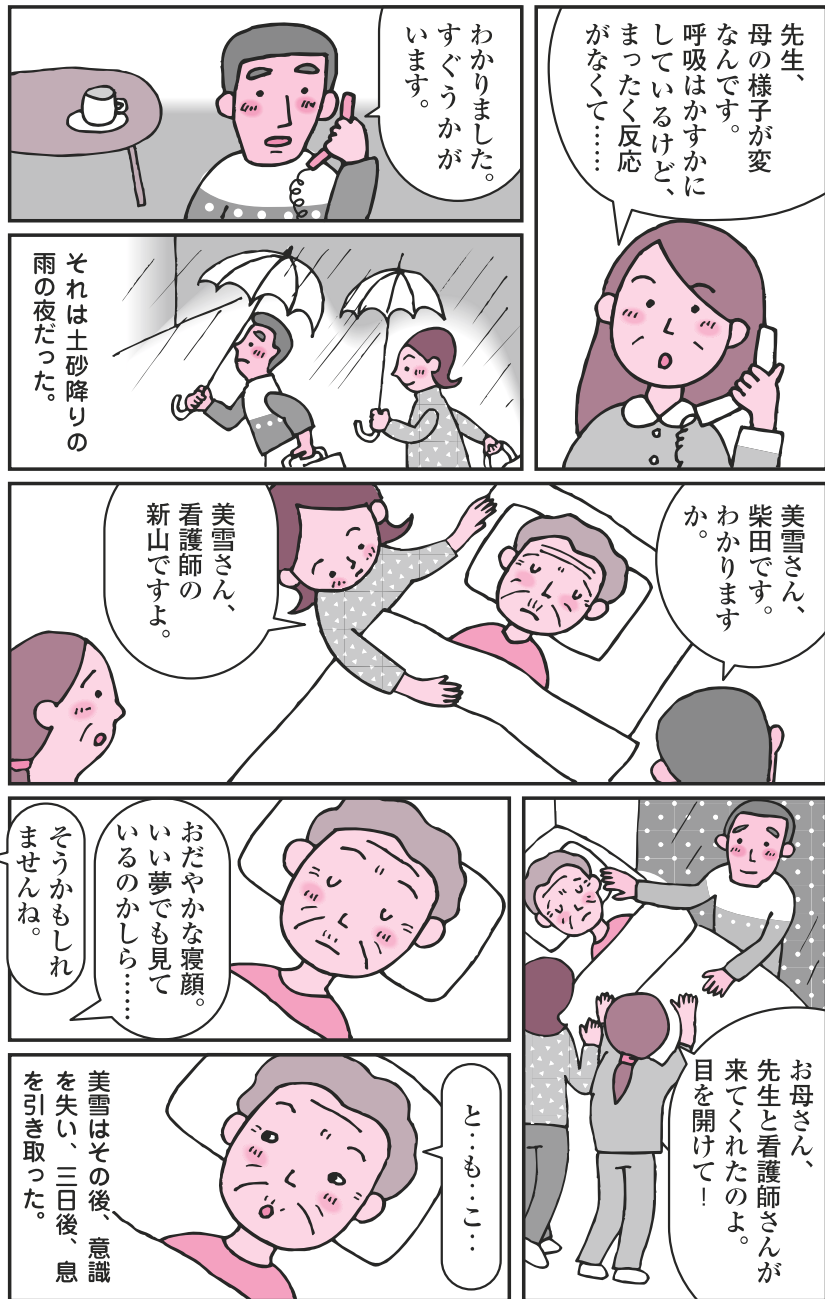
在宅医療とは？

良性疾患の在宅医療



(登場する人物、医療機関、その他団体等は架空のものであり、実在のものとは関係ありません)



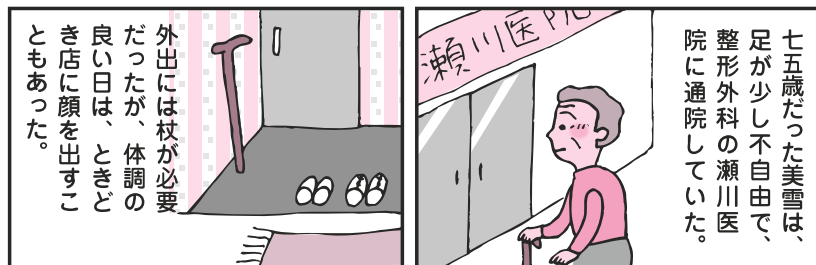
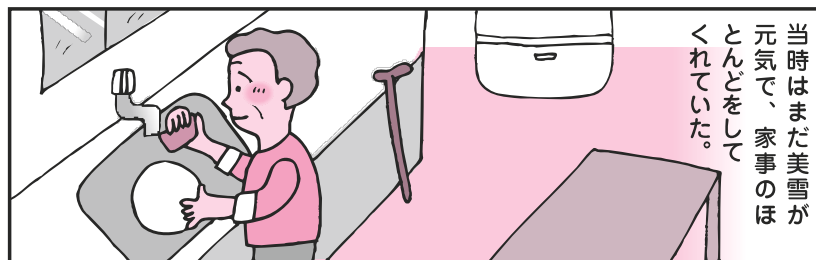
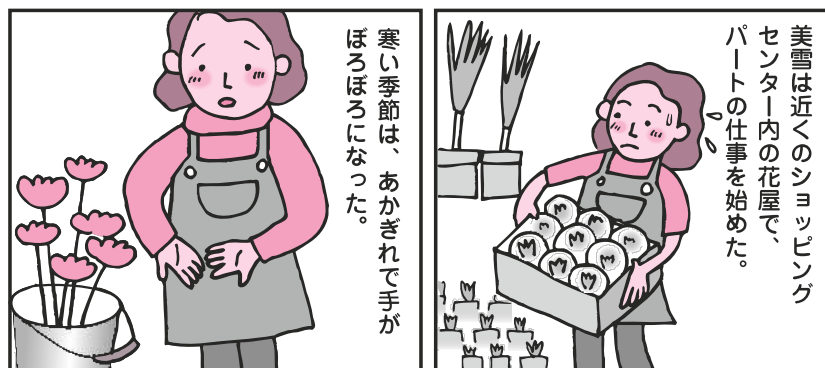
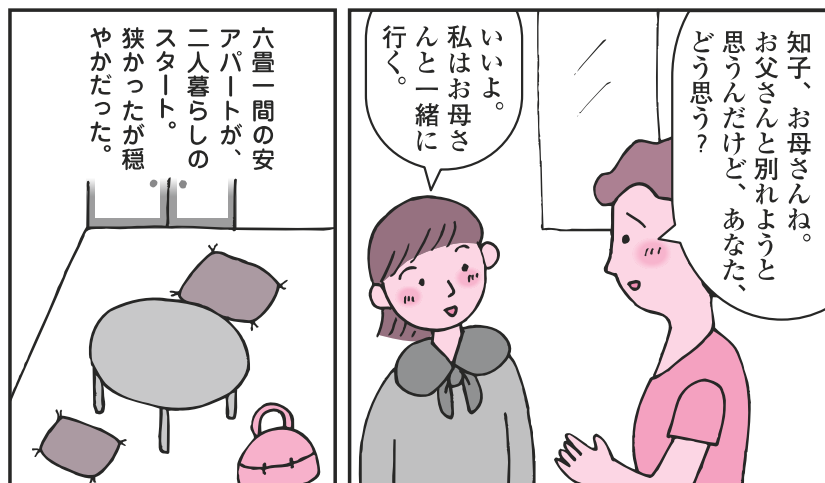


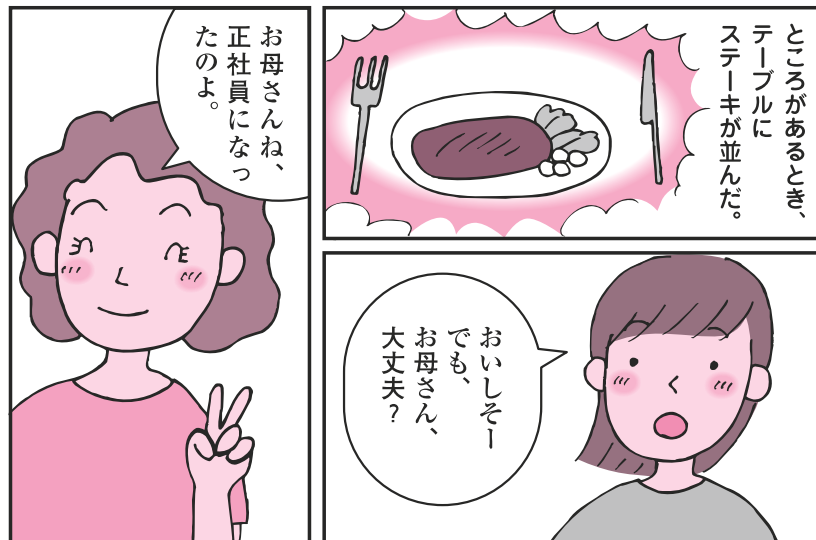
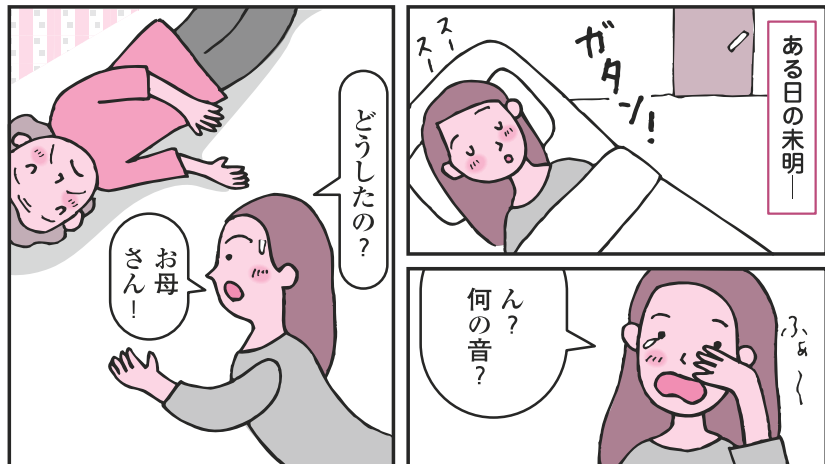
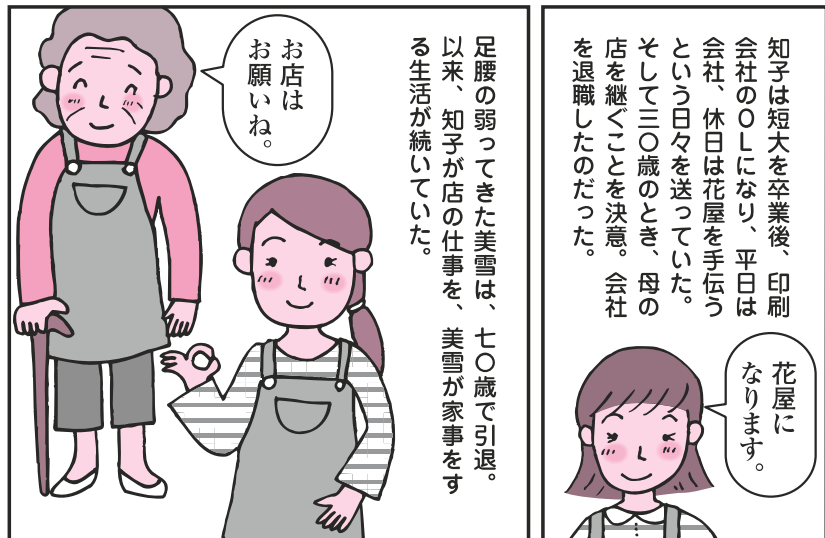
美雪と知子の二人暮らしは、その時点ですでに三〇年以上続いていた。

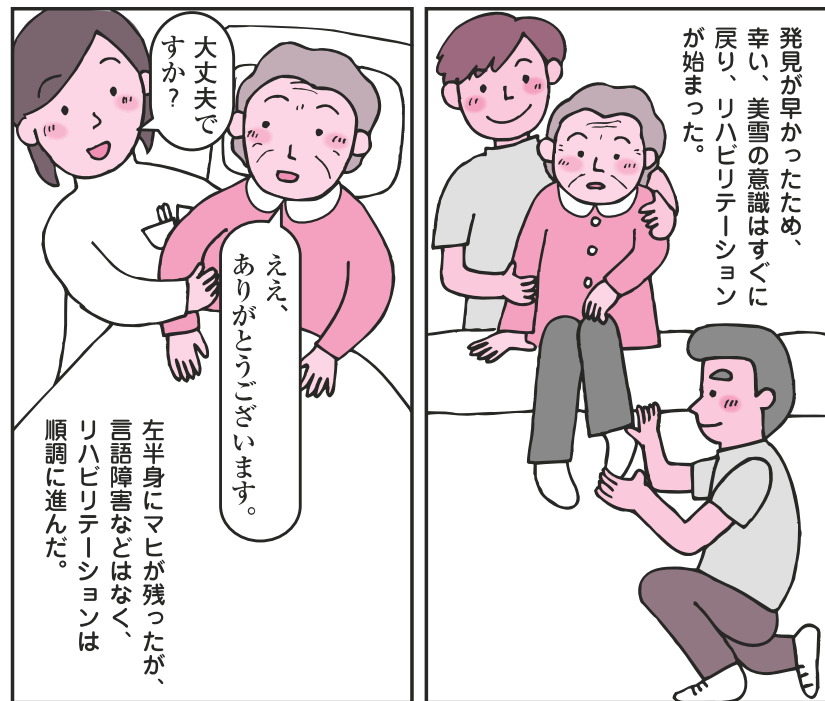
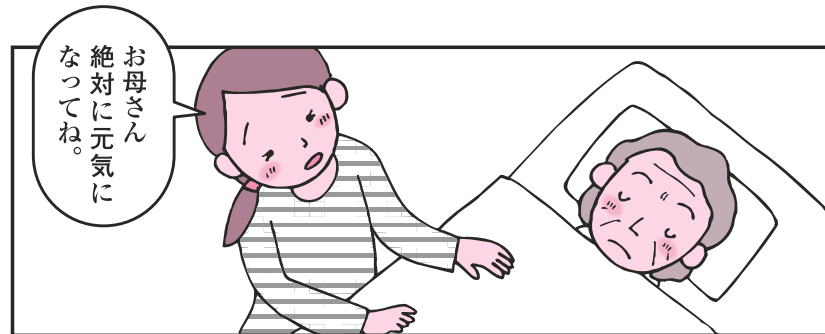
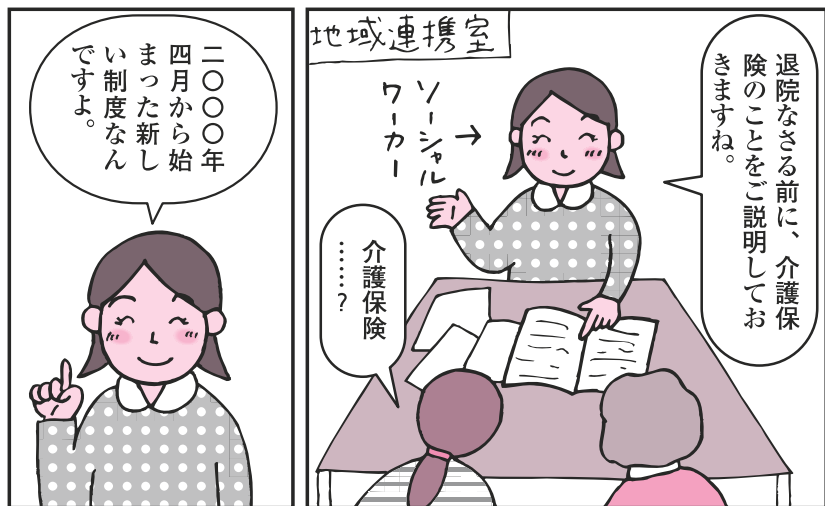
美雪が夫、つまり知子の父親と離婚したのは、四五歳のときだった。

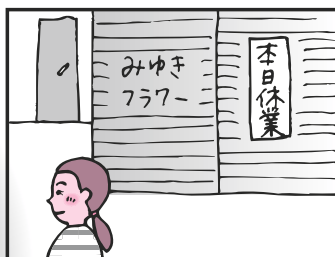
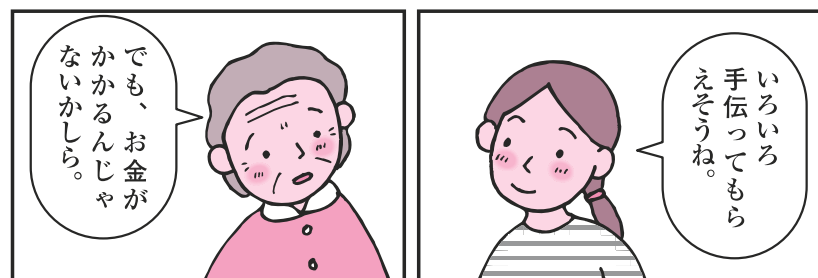
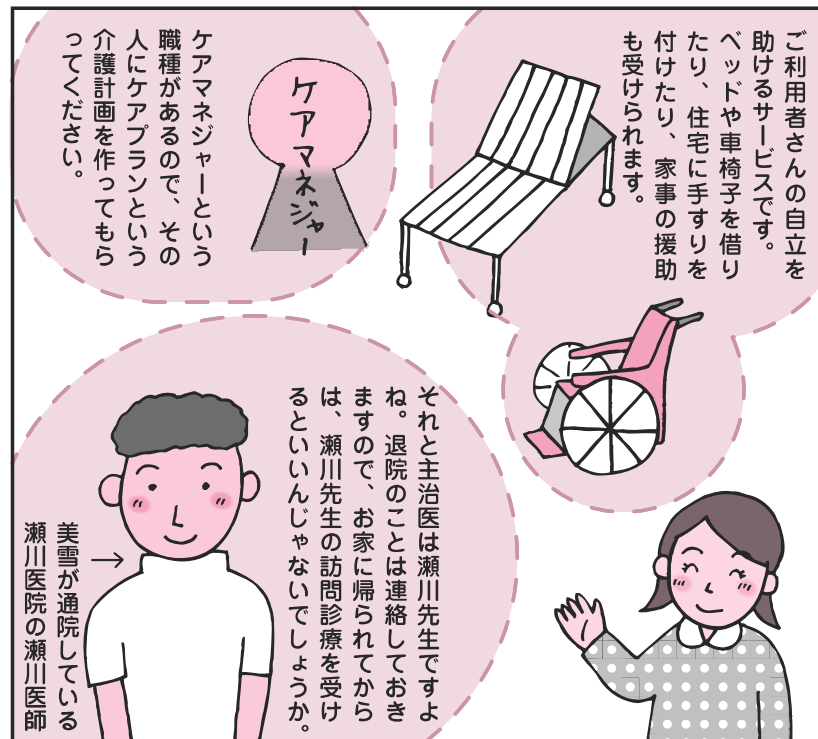
原因は夫の暴力。結婚直後から始まった暴力は、次第にエスカレートしていったが、「知子のため」と必死に耐えてきた。

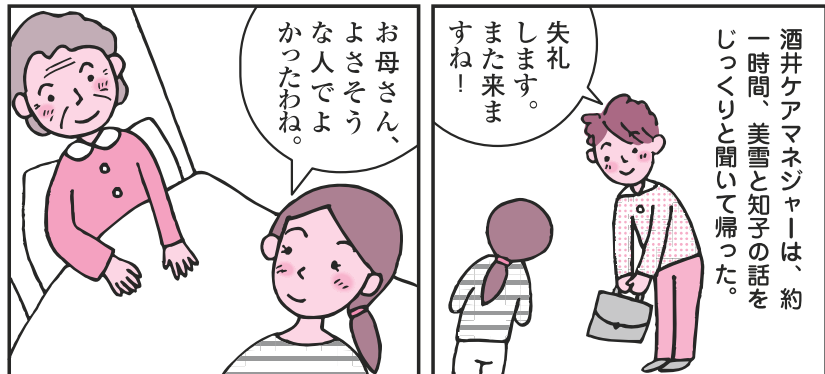
そんな美雪が知子連れ家を出たのは、知子が高校に入学した年だった。











お母さん、
よさそう
な人でよ
かったわね。

失礼
します。
また来ま
すね！

酒井ケアマネジャーは、約
一時間、美雪と知子の話を
じっくりと聞いて帰った。



こんにちは。
「はなまるケア」
の酒井です。
お体はいかが
ですか？

その後

美雪は要介護度二と認定された。



介護保険の申請手続きなどは
酒井にまかせ、
知子は仕事に
専念した。



外に行ける
のはうれし
いね。

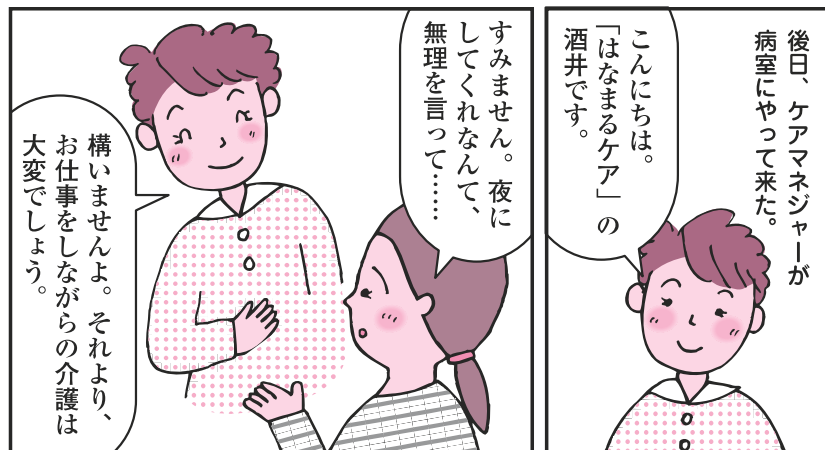
お母さん、
どう？

ケアプランを
持つてきました。
家事援助とデイ
サービスを中心
に入れてあります。
デイサービスは、
外出の多いところ
を選んでおき
ましたよ。



えー！
この中から
選ぶのー？

とりあえず、自宅に
一番近い事業所を選
んだ。不安は大きか
ったが……



後日、ケアマネジャーが
病室にやって来た。

こんにちは。
「はなまるケア」の
酒井です。

すみません。夜に
してくれなんて、
無理を言っ……

構いませんよ。それより、
お仕事をしながらの介護は
大変でしょう。

今一番困りのことは
何ですか？

(母) 家事が思うようにできなくて……
あと、わがままですが、できれば
外出がしたいと思っています。

娘さんは一日中
お仕事ですよ。

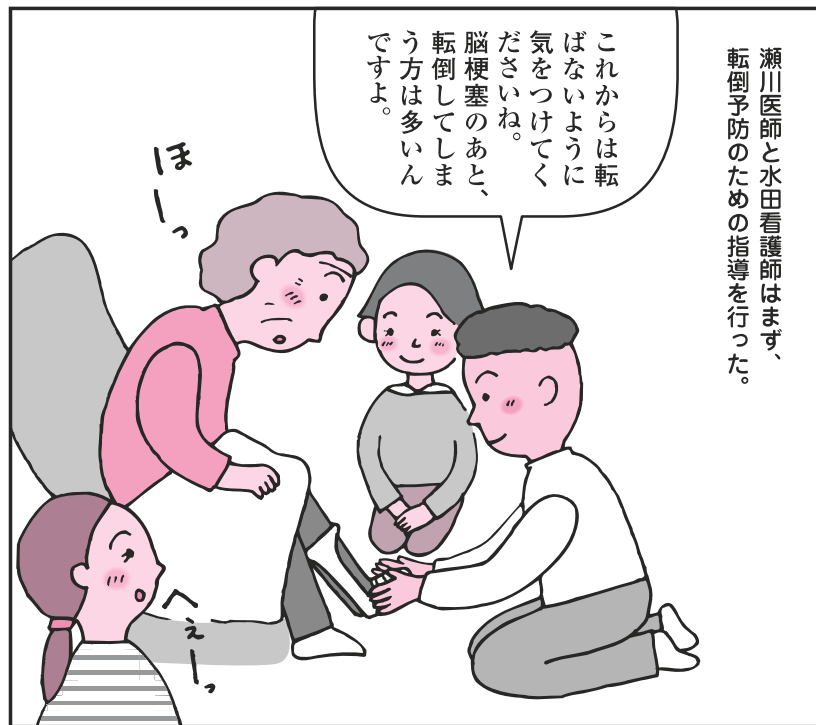
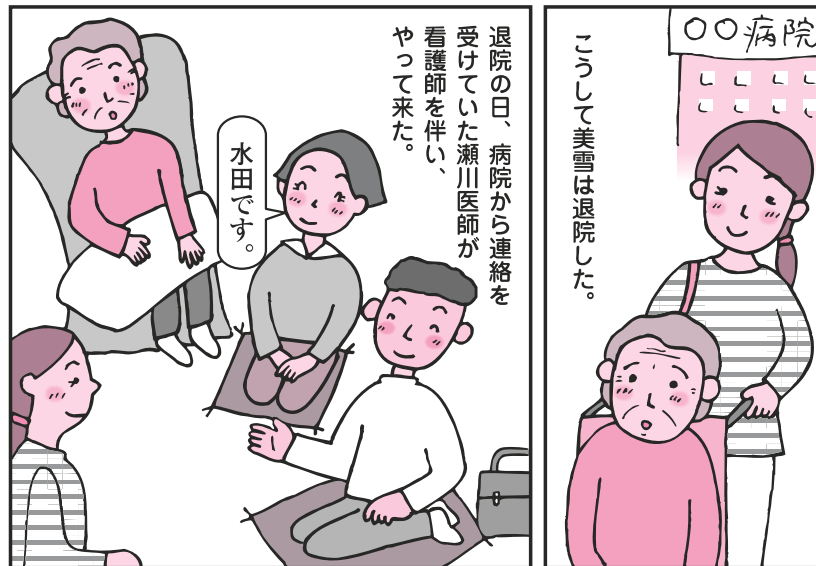
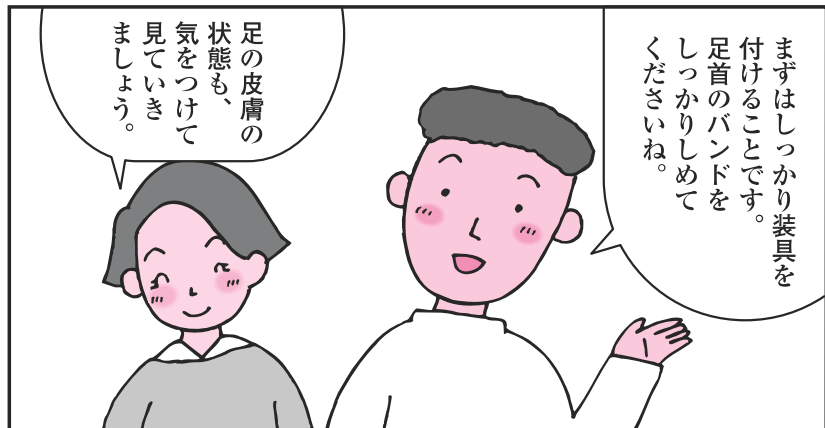
(娘) ええ。朝九時にお店を開けて、
夜七時に閉めます。できるだけ、
この時間は維持したいんです。
収入のこともありますし。

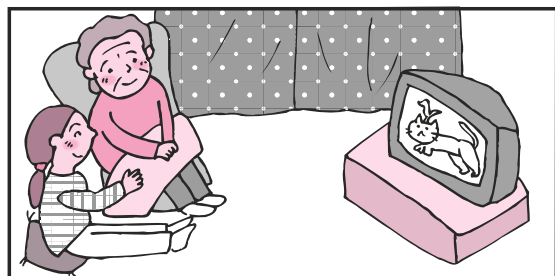
ほかに介護をお手伝いしてくだ
さる方はいらっしゃいますか？

(娘) いいえ。私たちは母一
人子一人で、親戚づき
あいありません。

もしご自宅で具合が悪くなっ
たとき、どうしたいですか？
入院を希望しますか？

(母) 病院はいやです。
家にいたいんです。



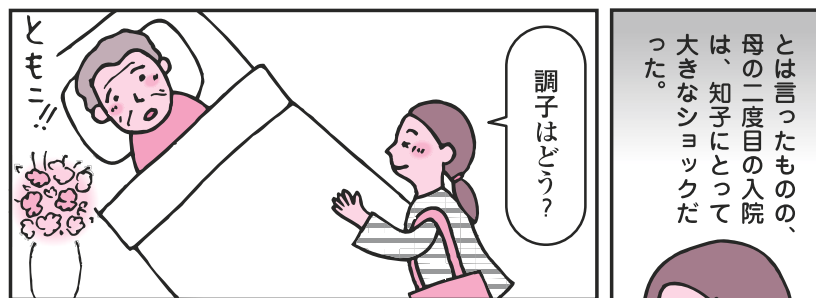
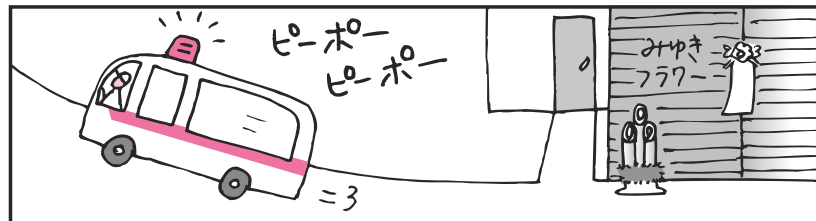
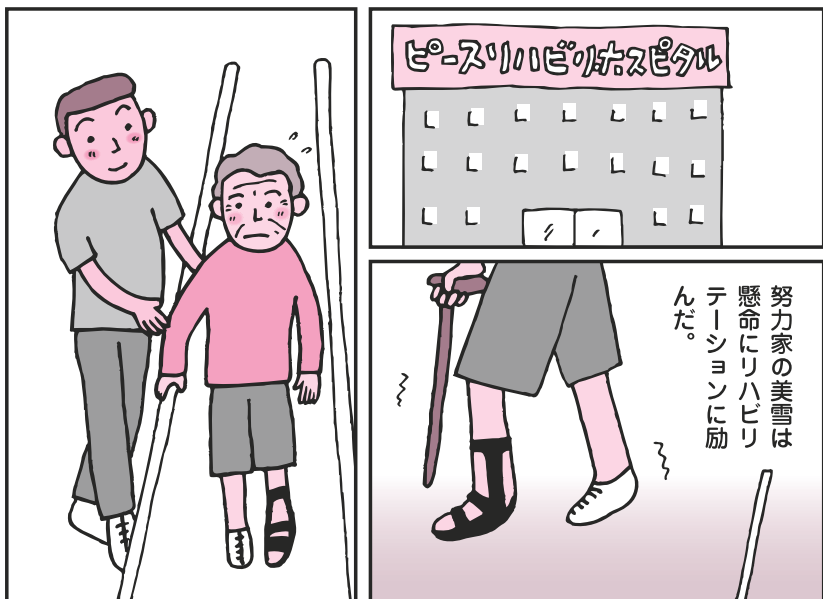
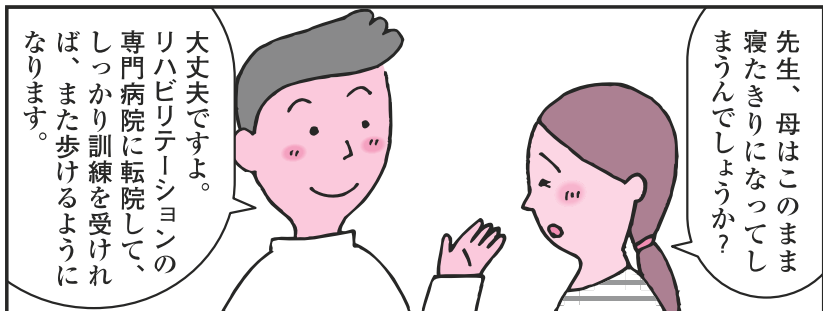


ところが……

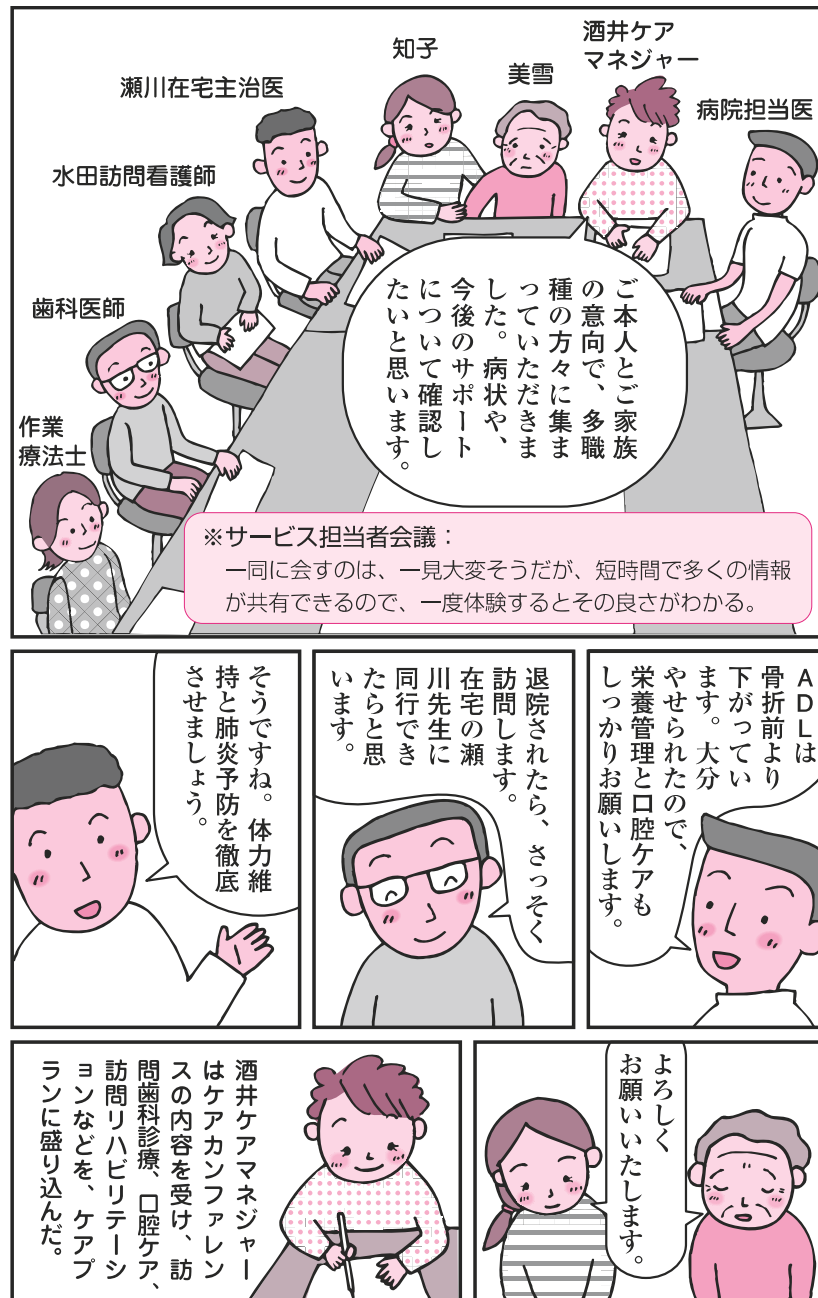


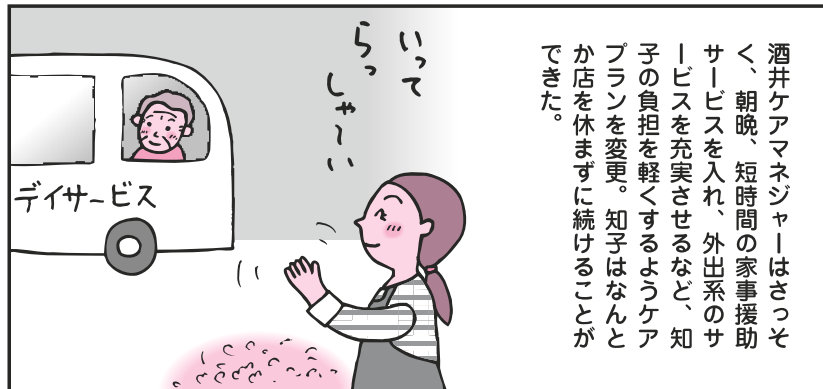
美雪はデイサービスが気に入った。社交的な美雪には、すぐに友達ができた。





※全国で年間10万人以上の高齢者が、大腿骨骨折を起こしている。





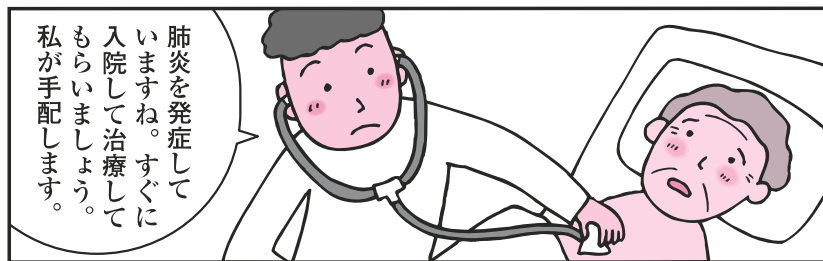
酒井ケアマネジャーはさっそく、朝晩、短時間の家事援助サービスを入れ、外出系のサービスの負担を軽くするようケアプランを変更。知子はなんとか店を休まずに続けることができた。

しかし美雪の体は、徐々に衰弱し、合併症が見られるようになり、寝て過ごすことが多くなった。

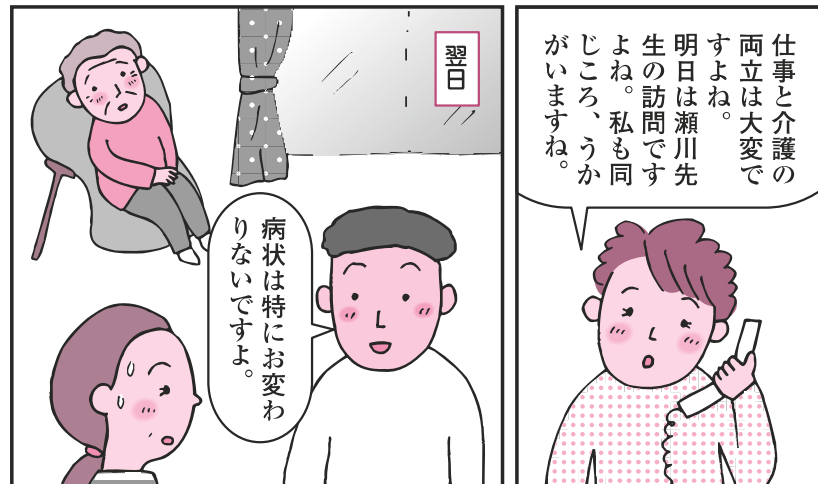


先生、母が熱があるようなんです。往診していただけますか。

美雪の状態が悪くなるにつれ、知子は店と自宅を行ったり来たり。仕事の合間に往診の依頼をするなど、日々の生活はますます錯綜してきていた。ベッドは、玄関から一番近い居間に移した。



肺炎を発症していますね。すぐに入院して治療してもらいましょう。私が手配します。



仕事と介護の両立は大変です。明日は瀬川先生の訪問ですよ。私も同じころ、うかがいますね。

病状は特に変わらないですよ。



先生！母はこのままで大丈夫なんですか。まだあまり食欲がないみたいだし、夜中に起きてしまうし、ほっとしていても多いみたい……

少しずつでも、できるだけ三食きちんと食べてください。眠れないなら、睡眠剤を処方しましょうか。ほっとしているのは、だれにでもあること。あまり心配しなくても大丈夫ですよ。



娘さん、かなりお疲れのようですね。

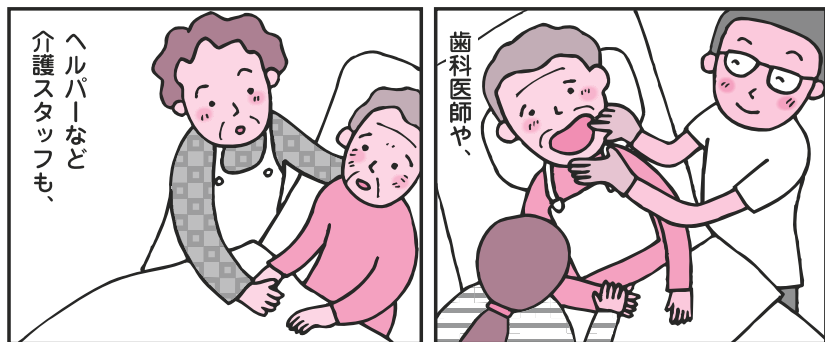
うん。介護者の支援をもう少し強化した方がよさそうですね。

どうもありがとうございました。



水田
看護師も、

瀬川医師も、



ヘルパーなど
介護スタッフも、

歯科医師や、

母娘の強い絆に引
き込まれるように、
チーム一丸となっ
て、二人の生活を
サポートし続けた。

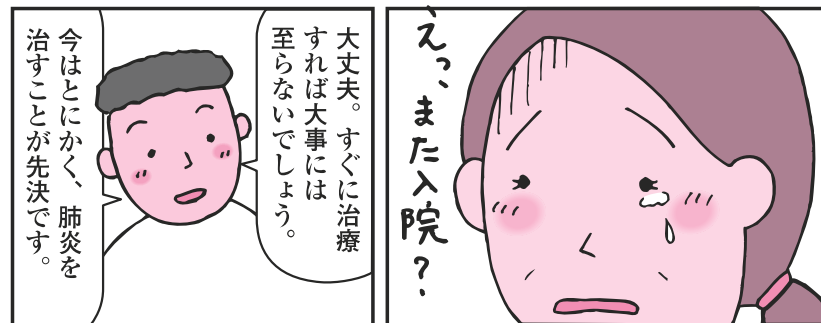


知子は休まず仕事を続けた。
母の介護に専念すべきかどう
か迷いながらも、母の作った
店を守りたいという気持ちが
強かった。

これ
ください。

いらっしや
いませ。

みゆき
フラワ



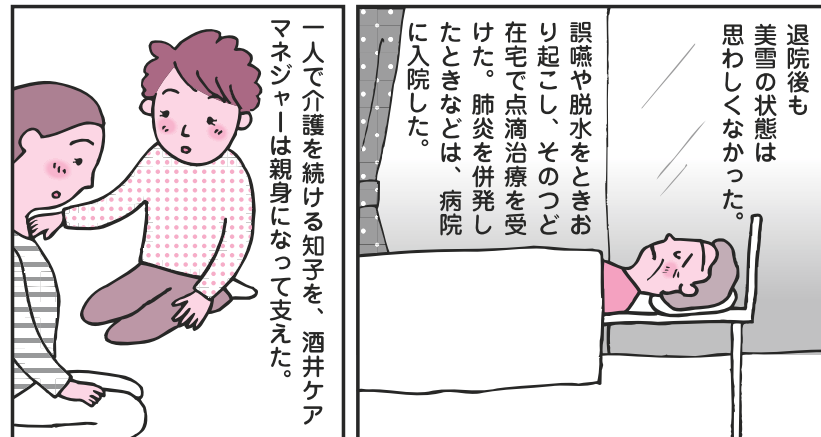
今はとにかく、肺炎を
治すことが先決です。

大丈夫。すぐに治療
すれば大事には
至らないでしょう。

えっ、また入院？！



美雪が入院した夜、
知子は思い切り泣いた。
どんな状態でもいいから、
美雪に生きていてもらい
たいと願った。



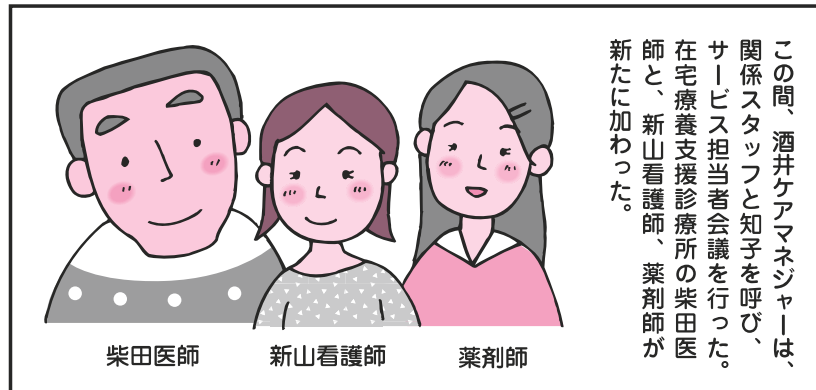
一人で介護を続ける知子を、酒井ケア
マネジャーは親身になって支えた。

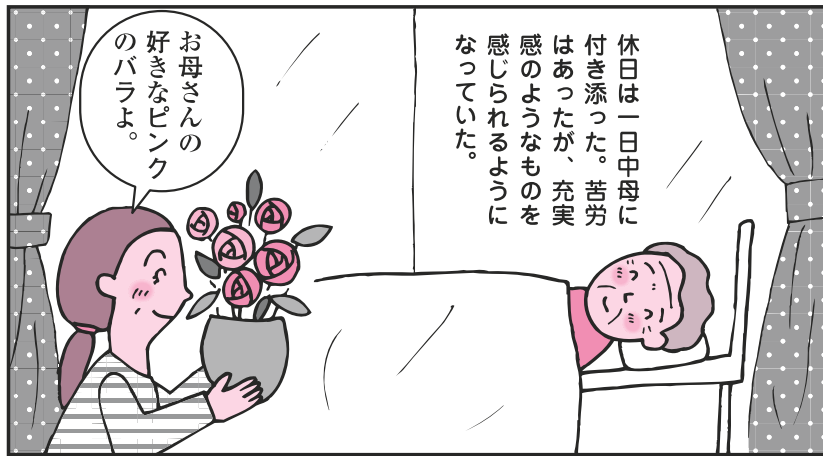
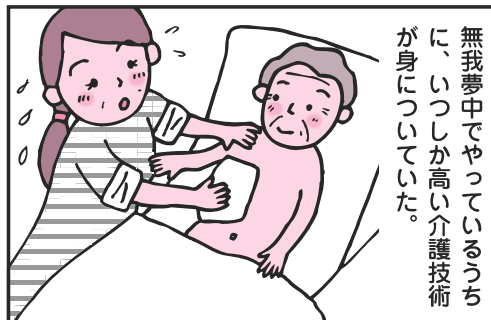
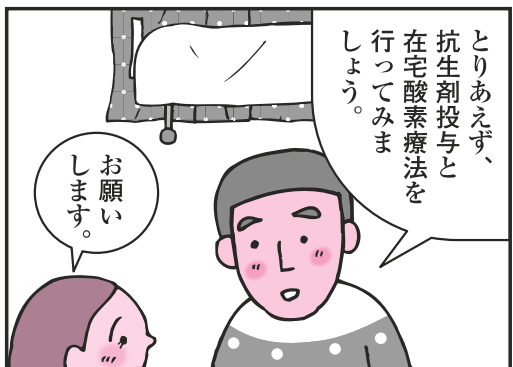
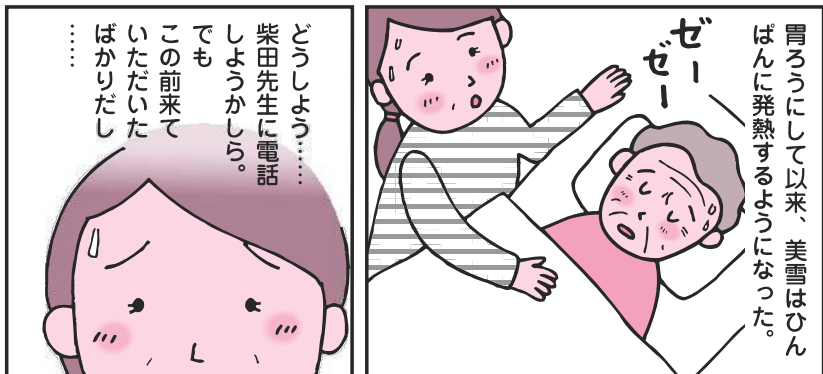
誤嚥や脱水をときお
り起こし、そのつと
在宅で点滴治療を受
けた。肺炎を併発し
たときには、病院
に入院した。

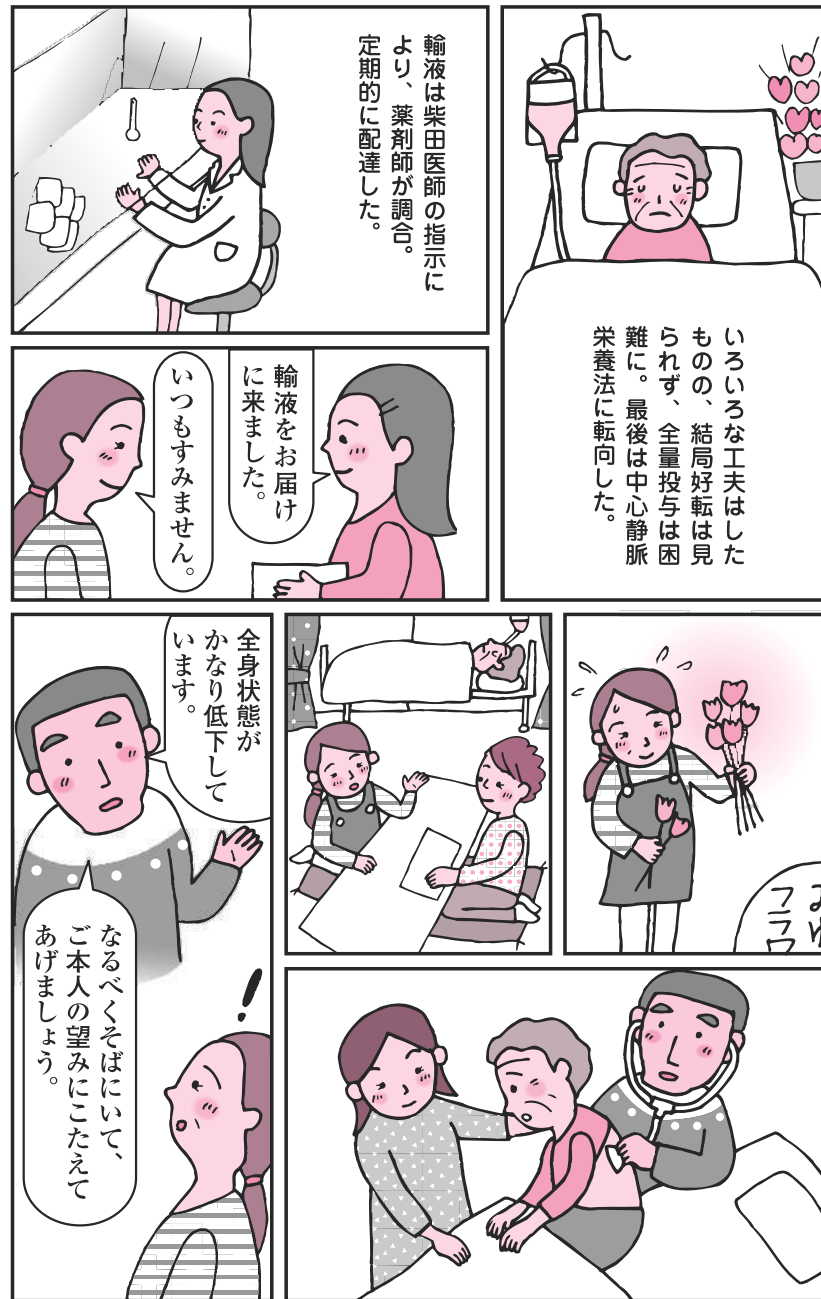
退院後も
美雪の状態は
思わしくなかった。

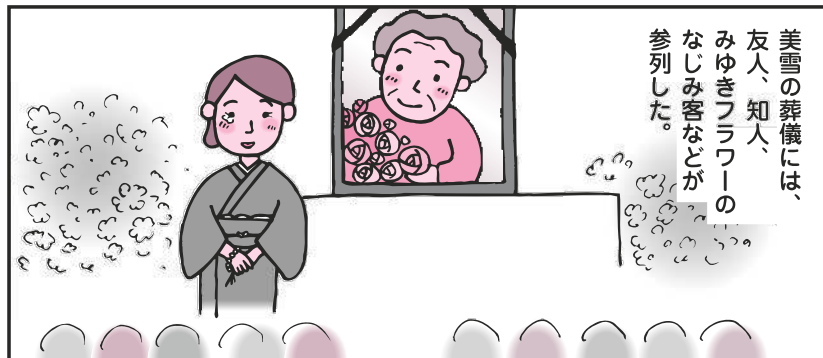


胃ろうの
造設は、
病院で行
われた。

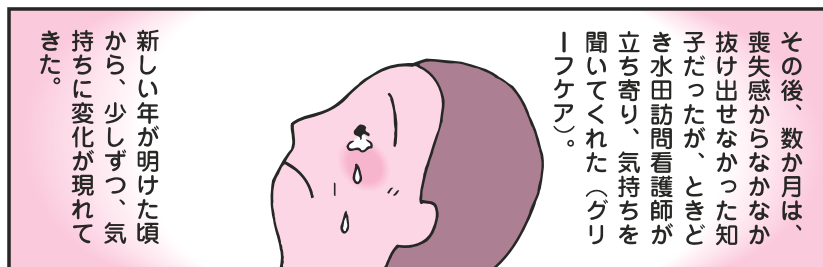




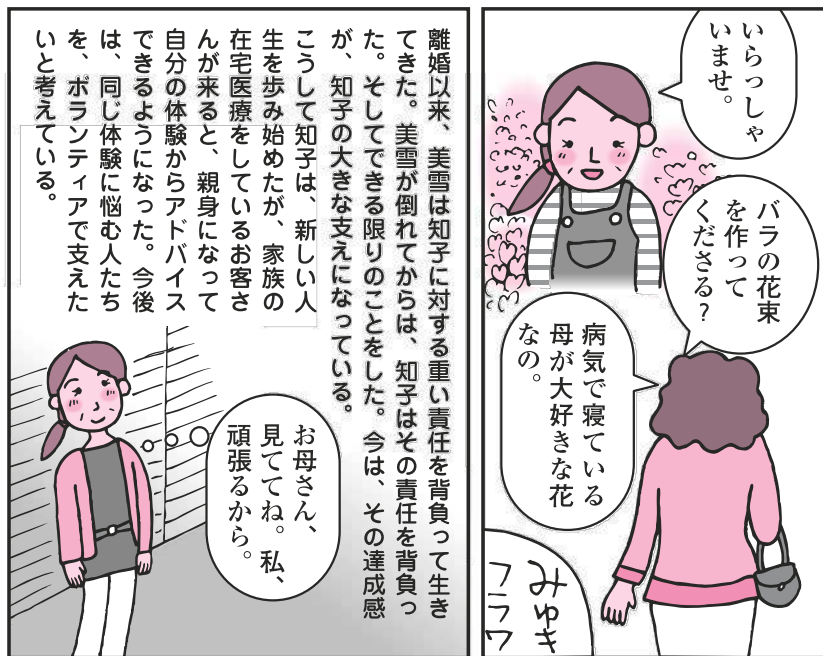




美雪の葬儀には、友人、知人、みゆきフラワーのなじみ客などが参列した。



その後、数か月は、喪失感からなかなか抜け出せなかった知子だったが、ときどき水田訪問看護師が聞いてくれた（グリーフケア）。
新しい年が明けた頃から、少しずつ、気持ちに変化が現れてきた。



いらっしやいませ。

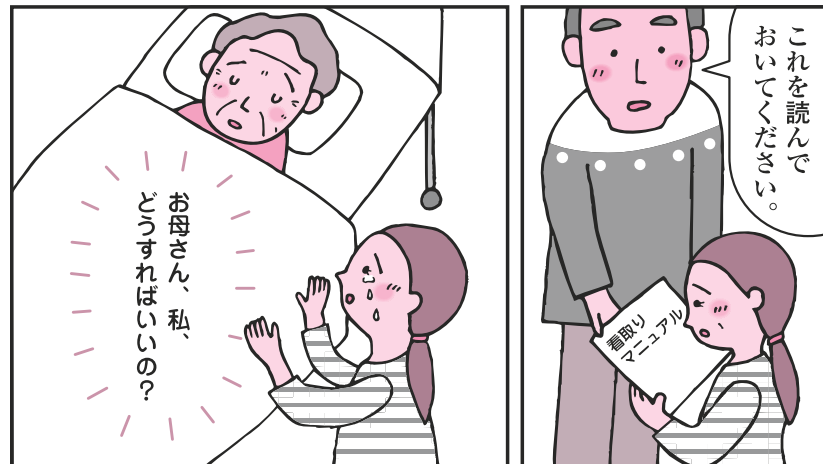
バラの花束を作ってくださいませんか？

病気で寝ている母が大好きな花なの。

みゆきフラワー

お母さん、見てね。私、頑張るから。

離婚以来、美雪は知子に対する重い責任を背負って生きてきた。美雪が倒れてからは、知子はその責任を背負った。そしてできる限りのことをした。今は、その達成感が、知子の大きな支えになっている。
こうして知子は、新しい人生を歩み始めたが、家族の在宅医療をしているお客さんが来ると、親身になって自分の体験からアドバイスできるようにになった。今後は、同じ体験に悩む人たちを、ボランティアで支えたいと考えている。



お母さん、私、どうすればいいの？

これを読んでおいてください。

葬儀マニュアル



知子さんがずっとそばにいてくれて、お母さまは安心していると思いますよ。



美雪が死亡したのは、七夕の夜から一週間たった七月十四日の未明だった。

今日まで、本当によく頑張りましたね。

いい最期でしたね。

本当にありがとうございました。